

令和5年度 愛媛県産業DXモデル創出事業費補助金 応募申請書

事業者名：〇〇〇株式会社

※本ファイルの内容は、あくまで記載例として作成したものです。

実際の申請にあたっては、自社のDXの状況や補助金対象として申請する事業の実施内容等について、わかりやすい表現にするとともに、申請書の記載内容の理解に役立つよう、図や写真を添付してください。また、本申請書の記載にあたっては、公募要領8の応募申請書の採択方法に掲げる審査項目にも留意してください。

1. 自社のDXについて

(1) 自社の経営上の課題

(現状)

当社は、〇〇を主な業務として、〇〇を活動範囲に、社員数〇〇で業務を実施している。

近年の〇〇や〇〇といった経済環境の変化に加え、人口減少社会が本格的に迫る中、業務の俗人化の解消に加え、自社の〇〇について、高付加価値化・顧客満足度の上昇と自社社員の労働生産性の向上の両者を達成するため、DXを推進することが必要となっている。

(課題)

- 属人化している業務が多く、〜〜
- 高付加価値で顧客満足度が高いサービスを生み出す分析を行うための〜〜

(課題発生要因)

- 各業務がマニュアル化されていない
〇〇業務について、〜〜
- 必要なデータの取得やデータの横断的な分析をする体制が不足
〇〇をするためには〇〇が必要であるが、〜〜
- デジタルのリテラシーが高い人材の不足
- 〜

1. 自社のDXについて

(2) DXに対応したビジョン/経営層のコミットメント

(経営ビジョン)

- ◆ コア事業におけるデジタル技術の活用
〇〇について、〇〇を活用し〜〜〜をすることで、〜〜〜
- ◆ 顧客と従業員がともに幸せになる環境の構築
〇〇〇により、〜〜〜をし、〜〜〜
- ◆ 常に変革を続ける自社体制の確立
常に変化を続ける経済環境に対応する〜〜〜

(事業戦略)

- ◆ DX事業計画の策定
社としてDXを推進していくため、〇〇年を目途としたDX事業計画を策定します。
- ◆ 〇〇部門の△△
自社のコア部門である〇〇について、〇〇を活用して〇〇し、〜〜〜
- ◆ 〇〇部門の△△
生産性向上に欠かせない〇〇部門について、〇〇を導入し、〜〜〜
- ◆ 〇〇の体制整備
DXを推進していくためには、人員の確保も欠かせないことから、〜〜〜

1. 自社のDXについて

(3) ロードマップ

	【第一段階】 令和5年度	【第二段階】 令和6年度～〇年度	【第三段階】 令和〇年度～〇年度
テーマ	データ活用環境の構築 ワークフローのマニュアル 化、標準化	データ活用の深化 デジタル人材育成の内製化	自社のDXエコシステムの 確立
具体的内容	①〇〇の導入 ~~~~を導入し、 〇〇〇 ②〇〇のオンライン化 手入力作業だった 〇〇について、〇〇を 導入し～～ ③〇〇のマニュアル化 データ化に向けて 〇〇のマニュアル化を 実施	④〇〇のデジタル化 〇〇の〇〇について、デジ タルツール活用に切り替える ことで、属人化を解消すると もに～～～ ⑤デジタル人材育成 自社におけるデジタル技術 活用推進のため、〇〇を活 用して～～～	⑥DX推進体制の確立 これまで部門ごとに行っ てきた〇〇について、全社 統合的に〇〇〇〇し、～ ～ ⑦DXエコシステム DXにおけるエコシステム を確立し、~~~~~ ～

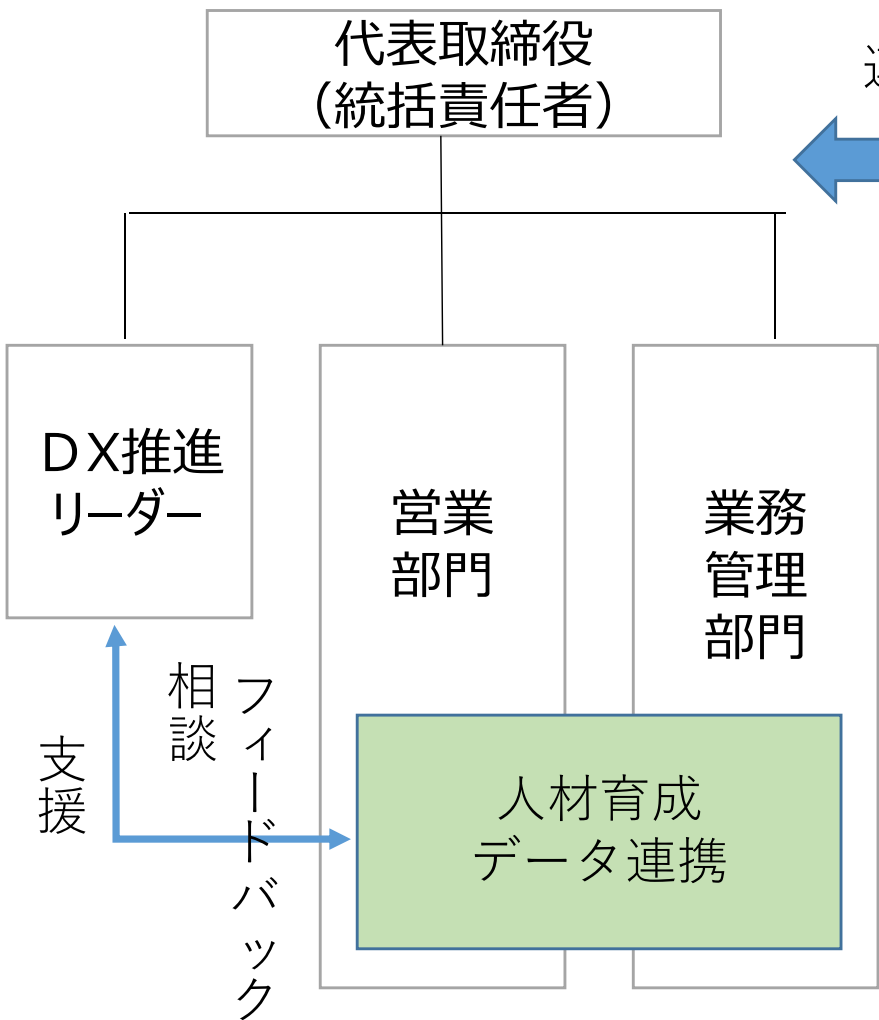
1. 自社のDXについて

(4) DXの推進体制、人材育成・確保

※DXを進めるために、社内において整備した体制について記載してください。

(外部機関等との連携があればそちらも記載ください)

※DXを推進、継続していくために欠かせない人材の育成、確保についても記載してください。



(DX推進体制について)

自社のDX推進プロジェクトについて

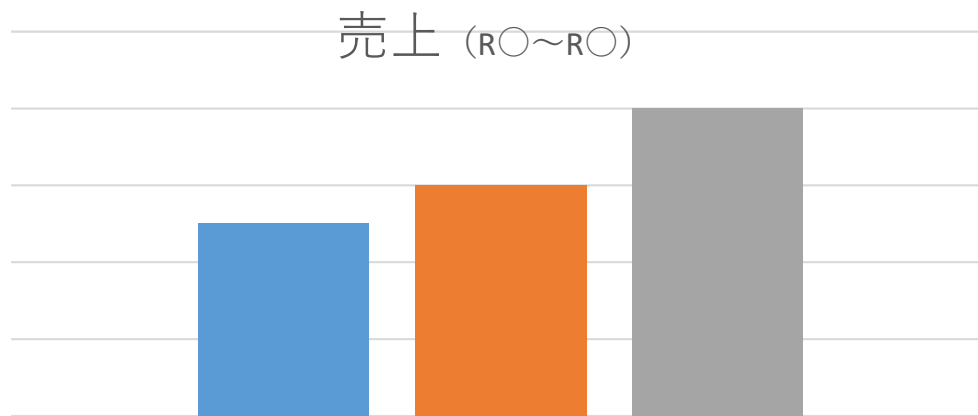
- 代表取締役を統括責任者とする。
- DX推進リーダー設置し、実務責任者とする。
- 営業部門、業務管理部門にもそれぞれDX推進チームを起ち上げるとともに、連携してデータ連携や人材育成に取り組む。
- デジタル技術の活用については、各部門のフィードバックを受け、DX推進リーダーが総括し、支援する。
- 社内システム部門について、〇〇社から操作方法、システム保守等で連携する。

1. 自社のDXについて

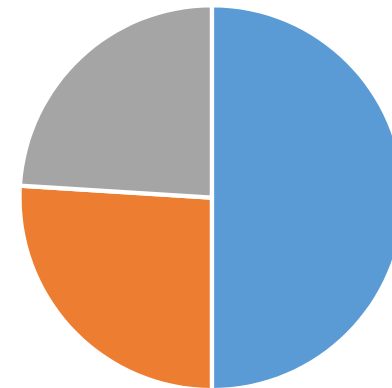
(5) DXの進捗状況について

○自社の経営状況について

DX戦略を立て、生産性の向上についてできる範囲で取り組みはじめた結果、〇〇において〇〇という効果が見られたほか、社員の意識についても~~~~



デジタルツールの活用



○今後の課題

一方で、生産性向上のために、さらにデータ取得範囲を増やすとともにデータ連携を深めていくためには、〇〇をするとともに、〇〇をする必要があり、自社のDX推進のためには〇〇の整備が欠かせない状況となっている。

2. 補助事業の取組みについて

事業名：〇〇〇の導入による〇〇〇

(1) 補助事業の実施内容について

当社においてDXを推進していくにあたって、現在、~~~~~までは達成しているところ。
一方で、〇〇や〇〇については、〇〇という機械設備及び〇〇システムの整備が欠かせないところとなっている。

〇〇は、〇〇を可能とするほか~~~~~

〇〇については、当社と同業の〇〇においても導入実績があり、〇〇や〇〇といった効果があるなど
~~~~

そのため、当社においても〇〇を導入し、~~~~を達成したい。

## 2. 補助事業の取組みについて

事業名：〇〇〇の導入による〇〇〇

(1) 補助事業の実施内容について

※機械設備やシステム等の  
図・写真※

※機械設備やシステム等の説明※



# 2. 補助事業の取組みについて

## (2) 事業の実施スケジュールについて

本事業の実施スケジュールは下記のとおり想定している。

令和5年5月    □□□□□□□□を開始  
          ○月    □□□□□□□□  
          ○月    □□□□□□□□  
          ○月    □□□□□□□□  
令和6年2月    成果報告とりまとめ

- 事業を確実に実施するため、納入元となる○○とプロジェクトチームを造成し、～～～
- また、早急に社内で活用可能となるよう～～～～～
- さらに、継続的な活用に向けて～～～～～

# 2. 補助事業の取組みについて

## (3) 事業の実施効果について

(本事業の効果について)

本事業の実施の結果、当社のDX推進における課題のうち、以下の課題が解決される。

- ①○○○について、~~~~~
- ②○○○について、~~~~~
- ③○○○について、~~~~~

上記の課題が解決されることで、当社の業務全体に対する効果が生じることで、今後3年程度で、以下のような効果が見込まれる。

○業務効率の向上について

業務に従事する職員の対応時間が○○時間から○○%削減される。

○□□□□について

~~~~~

○△△△△について

~~~~~

さらに、上記の効果達成により、自社において○○や○○となることから、DXがさらに進むことが期待できる。

# 3. DXのフラグシップモデル妥当性

## (1) 自社のDXの取組みの優位性、特長

※自社のDXの取組みについて、他の企業と比較して優れている点、進んでいる点について記載してください。

※自社のDXの取組みについて、進んでいる点について記載してください。

(記載内容例)

- ・自社のDXの取組みの展開可能性
- ・どのような点が、DXの取組みとして先駆的か
- ・大企業では取組みにくい、中小企業ならではのDXの取組み内容 など

# 4. その他

※補助金の採択審査に向けて、アピールできる内容について記載ください。

(記載内容例)

- ・自社のオンリーワンの技術がDXによってどうなるか
- ・業界における自社の立ち位置から、DXが進むとどうなるか など